



# 全国の組合から義援金 熊本へ886万円集まる

まず、平成28年熊本地震で亡くなられた皆様には、哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心より御見舞い申し上げます。

さて、日資連では、我々に今出来ることを実行しようということで、全国の会員組合、賛助会員の皆様に熊本への義援金を呼びかけさせて頂きました。お陰さまをもちまして、全国より886万4007円もの義援金をお預かりすることが出来ました。皆様のご協力、本当にありがとうございます。

深く深く感謝を申し上げたく存じます。

そして、去る6月7日、被災地を激励すべく日資連飯田会長、高野業務委員長と復興支援ボランティアで熊本入りしていた日資連紺野青年部長他青年部員5名で熊本市再生資源協同組合の理事長である西原副会長の元を訪問し、皆様からお預かりした大切な義援金を小切手で手渡ししました。

西原副会長からは、皆様へのお礼の言葉と、震災直後の状況や現在の熊本の状況についてお話をさせて頂きました。九州地方特に熊本は地震が少ないと言われているため、あの地震には本当にびっくりしたそうです。西原副会長自身、3日間ほど車中泊をして避難していた。当初は水や食料に大変苦労したそうです。仕事の方も震災直後から最初の2週間は本当に大変で、従業員の皆様も被災しながらも懸命に日頃の業務にプラスして被災ごみの撤去作業を行っていたそうです。今は、ごみステーションからあふれていた震災ごみの方もすっかりきれいになり、おおむね通常の生活が出来るようになっていますが、仮置き場や処分場

もまだまだ片付いておらず、倒壊の危険のある建物の解体などもこれからといった状況でした。復興には2〜3年かかるというところで、まだまだ時間がかかりそうですので、引き続き、色々な形で熊本復興支援をお願いしたいと思えます。



西原副会長(写真中央)に義援金を届けました

## 熊本地震災害報告と義援金への御礼

平成28年4月14日午後9時頃、皆がゆっくり休もうと思っていた時にそれは突然やってきました。10数秒間も揺れる地震でした(震度7)。物は倒れ、立つ事もままならない程の地震でした。また、その後も頻りに余震が続いてきました。テレビではどのチャンネルでも地震の報道が流れ、その被害の大きさを物語っていました。

翌日、私の会社(株西原商店)では、本社工場内において、瓶類の2/3程が倒れてカレットになったり、傾いたりしたもので、数十名の社員と一緒に片付けました。また、第一駐車場では大型トラックのフロント部分にユニーク車が衝突していたなど、トラックへの被害も確認できました。

電気、水、電話等のライフラインが遮断され、飲み物や食べ物も公園で並んで配給を受けながらという状態でした(数百人)。私は余震を感じながら呆然とする場面もありました。『今できることを皆で精一杯やってみよう』と自分に言い聞かせ、この日を過ごしました。

平成28年4月16日午前1時頃、本震と言われる地震がやってきました。私は命がけで近所の人達や家族を連れて、近くの中学校まで避難し、家族と共にグラウンドでの車中泊を余儀なくされました。途中で自宅に戻り最低限の生活用品を取りに帰りましたが、余震は続き、油断の出来ない日々を過ごしました。

会社では、せっかく整頓した瓶類が再び壊れ、しばらくそのままにしました。社員には飲料水や炊き出し(おにぎりや漬物)を配給したりなどして、喜びから笑顔がこぼれる場面もあり、私は嬉しく思いました。

また、1カ月程度はほとんど休みもなく、自宅が半壊、全壊して車中泊で過ごしているにも関わらず、がんばって出勤してくれた社員達には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

仕事の方では、新聞入荷、段ボール入荷数半分減、雑誌入荷増加、鉄屑増加となるのですが、ゴミ関係は町中に溢れどくなるかと思われたゴミは、全国の自治体、全清連、熊本一廃組合、産廃協会等が、応援に来ていただき、5月末にはほぼ通常と変わらぬ景色になってきました。

ただテレビ等でご存知と思いますが、熊本城、阿蘇神社等の損壊には悲しくなります。その中で、日資連に加盟している北海道から沖縄県まで、皆様からの温かい励ましを含めた義援金は感謝の気持ちでいっぱい、何もいふ事ができません。また、飯田会長には、お忙しいなか、6月6日、7日と熊本まで来ていただいた、励ましの言葉も頂き誠にありがとうございます。また、青年部の方々も2回程ボランティア活動に来ていただいております。

熊本はがんばります。今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。最後に申し上げますが、心から重ねてお礼を申し上げます。

平成28年6月13日

熊本市再生資源協同組合  
理事長 西原茂雄

# 頑張ろう！熊本！

## 青年部が復興支援活動を実施

青年部では、これまで東日本大震災、関東東北豪雨災害において、復興支援のボランティア活動を行ってまいりました。

関東地区の会員が多い中、トラックで駆けつけるにはなかなか遠い今回の熊本での震災に対し、何が出来るか青年部としても真剣に考えました。

もともと、復興支援活動は青年部の活動の目的ではありません。ですが、地震が少ないと言われていた今回の熊本での地震の報を受け、日本はどこにいても被災地になる可能性があります。そんな時に、我々はどうのように対応すべきか、そして、トラックやダンブ、バッテリーなど復旧活動にも適した車両や人員を持ってくる我々がどんなことが出来るのか、そして復興には何が出来るのか、そういう気持ちを得ることが出来る機会であり、そして何より、ほんの少しでも被災地のために力



になれるという気持ち、感謝の言葉を頂いた時の感動、を青年部のみんなに伝え、全国に発信していきたいと考えています。

そのようなわけで、今回の熊本地震に際しても、青年部は今出来ることをとにかくやってみようという事で、復興支援活動を始めました。まず、私の地元の間が震災直後、支援車両を熊本に派遣するにあたり、支援物資として水とマスクを募集していたので、皆様にご協力頂いたビンバジの売り上げ等を積み立てた日資連青年部復興支援基金で支援物資を購入し寄付しました。



【第1回熊本訪問・復興支援活動】

次に、青年部の第6代青年部長であった東京の松本直行氏、奥様のご実家が熊本県益城町にあり避難されているという奈資協の中山幹啓氏と共に、連休明けの5月8〜10日にかけて熊本を訪問し、復興支援ボランティア活動並びに視察をして参りました。

まず福岡市に入り、私の知り合いの有光株式会社日本紙料の有光専務から家財道具の片付け用の段ボールを寄付して頂き、中山夫人のご実家の避難先にお届けしました。ご実家の方は、半壊という事で、家は形を残していますが、住める状況ではなく、少しづつ家財道具を整理しているところだそうでした。

2日目に熊本市災害支援センターに行き、ボランティア登録をして熊本市東区のマシヨンの部屋の中の家財道具の片付け、撤去作業をしました。マシヨンは無事なもの、構造上、高層階は良く揺れるようで、家具は倒れ、家財道具が散乱している状況でした。

作業を終えた後、熊本市再生資源協同組合の西原理事長を訪ね、地震の時の状況や現状についてお話を伺ったり、施設等を見させて頂きました。この時点では、市内のごみステーションは震災ごみと通常ごみで溢れかたっていて、大変な状況でした。震災ごみの仮置き場も山積みで処理が追い付かない状況だとのことでした。(3面に続く)



(2面からの続き)  
その後、被害のひどかった益城町の状況を視察しました。1階部分がつぶれた建物や、電柱に寄りかかってしまっている建物、完全に崩れてしまった家屋など、メディア等でも報道されている通りの状況でした。阪神大震災の様な火災の被害や、東日本大震災の時の津波の被害がなかったため、純粋に地震で倒壊したというだけで、地震のエネルギーの恐ろしさを感じました。

また、熊本の町はようやく普段の生活に戻りつつある状況で、震災後休業していた店舗が再開していたり復旧へ歩き始めたところでした。私たちは、少しでも地域経済のためにがんばりたい、熊本の町に繰り出しました。もちろん、お土産もたくさん買って帰りました。そして、次はより多くの部員を連れて、また来ようという気持ちをもって第1回目の熊本訪問を終えました。

そこからちょうど1ヵ月、6月5〜7日の日程で、第2回熊本復興支援活動を実施しました。7



日に飯田会長が熊本入りされるのに合わせて、活動をすべく呼びかけたところ、関連連濱田青年部長、東京の仲條副部長、奈良の寺井副部長、神奈川

の竹井部長、沖縄の金城特別会員の参加を頂きました。第2回の報告は竹井部長に以下お願いします。

【第2回熊本訪問・復興支援活動】  
1日目(6月5日) 翌日は早朝出発のため、レンタカーを事前に手配して、ホテルに集合。翌日合流する寺井副部長を除く5人が集まり、各々の近況を明日のスケジュールを綿密に話し合い1日目は終了。

2日目(6月6日) 天気は曇りで気温は25℃。昨日手配したレンタカーで、福岡を5時30分に出発。九州自動車道を使って7時過ぎには熊本市街へ。市街は、車内から見ている限りでは地震の被害は見えなかったが、益城町に入ると回りの景色は一変した。至るところに半壊した家屋や、元の形が分からないほど無残に倒壊した家屋が1ヶ月半経った今でも、そのままの状態が残っていて、地震の怖さを目の当たり

川と継続(益城町でのボランティア活動)2回目以上の方)の2つのグループに分かれました。新規グループの私達は、受付とオリエンテーションを先ず始めに受けます。オリエンテーションでは、被災者のプライバシーの保護や寄り添うことの大切さなど、活動上の留意事項等の説明を受けて、その後マッチングとグループで、スタッフから

規と継続(益城町でのボランティア活動)2回目以上の方)の2つのグループに分かれました。新規グループの私達は、受付とオリエンテーションを先ず始めに受けます。オリエンテーションでは、被災者のプライバシーの保護や寄り添うことの大切さなど、活動上の留意事項等の説明を受けて、その後マッチングとグループで、スタッフから

【経産省から講師招き講演】  
R化証明書専ら物などテーマ  
去る、2月26日(金)、TKP町田カンファレンスセンターにおいて、経済産業省産業技術環境局リサイクル推進課課長補佐の酒井崇行氏を講師に「持続可能な社会を支えるリサイクル産業の振興に向けて」と題する講演及びリサイクル化証明書の促進、専ら物、情報収集などをテーマに酒井講師とのフリーディスカッションを開催した。

容に私達は手を挙げると、びったり10名集まりマッチングしました。その10名の中から現場責任者のリーダーに紺野氏に就いて頂き、本日の作業で必要な土嚢袋、ほうき等を資材置き場で借りて2台の車に分乗し、ボランティアセンターから3キロほど離れた現場に向かいま

講師の酒井崇行氏

先端技術の紹介、静脈産業の日本欧米比較から、欧州のRE/CE戦略、欧米における静脈メジャーの活躍・拡大を含め、我が国の静脈産業の現状と取り組むべきことについて、盛り込まれた。お兄さんから、家主から言伝で頼まれた事を私達に指示をしてくれま

現場は平屋の一軒家で、地震によって屋根瓦が落ちて、応急措置としてブルーシートで屋根は覆われ、庭先にはビニール袋に家庭用品が詰められた状態が積み重なっていました。80歳女性が独り暮らしをしていて、お兄さんから、家主から言伝で頼まれた事を私達に指示をしてくれま



**栃木県リサイクル協同組合連合会**  
会長 星本 昭次  
〒320-0816 栃木県宇都宮市天神 2-7-18  
TEL 028(634)5930・FAX 028(666)8513

**群馬県再生資源事業協同組合連合会**  
会長 上岡 克己  
〒371-0857 群馬県前橋市高井町 1-26-3  
TEL 0272(53)7291・FAX 0272(54)6221

**埼玉県再生資源事業協同組合**  
理事長 福田 寛榮  
〒330-0834 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 2-156-1  
エクセルハイム103  
TEL 048(607)7401・FAX 048(607)7402

**千葉県資源リサイクル事業協同組合連合会**  
会長 飯田 俊夫  
〒260-0015 千葉県千葉市中央区富士見 2-22-6  
富士ビル5階A号室  
TEL 043(227)8273・FAX 043(227)2033

**東京都資源回収事業協同組合**  
理事長 片岡 繁  
〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-21-1  
TEL 03(3263)3676・FAX 03(3263)3679

**神奈川県資源回収商業協同組合**  
理事長 佐藤 秀夫  
〒220-0023 神奈川県横浜市西区平沼 1-40-17  
モンテベルデ横浜 311号室  
TEL 045(313)6100・FAX 045(313)6161

**奈良県資源回収事業協同組合**  
理事長 森田 元嗣  
〒635-0095 奈良県大和高田市大中 106-2  
経済会館 6階  
TEL 0745(23)2266・FAX 0745(23)2285

**新宿区リサイクル事業協同組合**  
理事長 佐藤 一郎  
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-12-12  
㈱小池商店本社内  
TEL 03(5363)3196・FAX 03(5336)3197

**日本再生資源事業協同組合連合会**  
広告掲載のお願い！  
本紙への掲載広告を募集しています。  
詳しくは事務局にお尋ねください。

～各地のリサイクルニュース～

第1回

# 世界に誇れる「recycle」

## 2020年の東京五輪開催に向けてPR

東資協ではこの度、東京都産業労働局に「recycle&TOKYO」のロゴとキャッチコピーの利用申請を行い認可頂戴しました。これは2020年オリンピック・パラリンピック開催とその先を見据え、東京が誇れる人、モノ、コトを広く国内外にアピールしていく取り組みの1つで、東京

このコーナーでは、日資連青年組合からご寄稿頂いた記事をご紹介します。第1回目は、東京都資源回収事業協同組合が発行している東京資源界報から記事をご提供いただきます。

※各地からのリサイクルニュースを募集しています。地域のリサイクルニュースをアースレックで全国に発信しませんか？宣伝等であれば内容は自由です。掲載希望の方は、事務局までご連絡下さい。

日本のリサイクルは江戸時代より続いているとも言われており、これはリサイクル先進国として海外にアピールすべきこととす。中でも集団回収事業は40年以上統一して

る歴史あるもの、今では東南アジアの方が視察に来るほど注目されています。組合員の多くは毎日車を走らせ、安全運転と安全作業、親切丁寧な住民対応を心がけ作業に取り組んでいます。

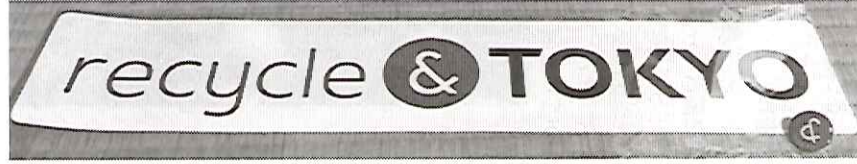
今回「TOKYO」で取得したロゴの色は(はなだ)色。これは安心・正確・便利を表しており、日頃の取り組みが評価されていることであり、継続させなくてはならない事です。また、recycleという言葉の使用を認められたのは当組合が初めてであり、その責任は大きいと考えております。

今や日本全国に被害が拡大している持ち去り問題、いつの日か「古紙持ち去り防止」と「recycle



この2枚のステッカーを貼った「正義」の回収業者が悪を滅ぼし、胸を張って世界に誇れるリサイクルシステムを構築していきましょう。

(東資協業務委員長 鰐淵)



### 山原副会長に功労者表彰

#### 奈良県組合創立50周年式典で

去る5月27日(金)奈良ホテルにおいて奈良県資源回収事業協同組合設立50周年記念式典が開催された。この記念すべき日に、日本再生資源事業協会(東資協)から山原副会長に功労者表彰が授けられた。

同組合連合会副会長、奈良県資源回収事業協同組合会長の山原丈之氏が日資連功労者特別表彰を受賞されました。

段ボールのリサイクルは次世代の環境作り!!

循環型社会に最適な包装資材として今後ともリサイクルの推進・向上に努めます。

## 段ボールリサイクル協議会

リサイクルマークの普及促進中!!

資料問い合わせは事務局へ  
詳細については段ボールリサイクル協議会のホームページ  
(http://www.danrikyo.jp)で閲覧できます

東京都中央区銀座3-9-11 紙パルプ会館  
(全国段ボール工業組合連合会内)  
TEL03-3248-4853 FAX03-5550-2101

## 埼玉で青年部総会を開催

### 関資連新部長に濱田氏(千葉)

去る4月16日、埼玉県再生資源事業協同組合青年部の設置協力を頂き、浦和ロイヤルパインズホテルにて日・関資連青年部の合同総会を開催した。両青年部とも改選期にあたり、慎重な審議がなされた結果、日資連青年部は第9代紺野青年部長の統括、関資連青年部は埼玉の関根晃氏から交代し、千葉の濱田賢一氏が第19代部長に就任した。紺野部長は、会員組合青年部あつての日資連青年部ということ、各県の活動支援を前面に活動を行い、また次期を見据え

た人材育成に努めていくこと、そして熊本の地震の直後ということ、復興支援活動を必ず実施すると決意表明を行った。濱田部長は、地元千葉の千和会から率先して関資連青年部の活動に参加し、関東を盛り上げて日資連青年部活動を支えていくと挨拶した。そして、役員体制も一新し、益々元気の青年部にこの期待ください!

#### 日資連青年部新役員

相談役	山本 博之 (福井)
	関根 晃 (埼玉)
	太田原 充 (新潟)
青年部長	紺野 琢生 (東京)
顧問	武井 大輔 (群馬)
監査役	布野 貴志 (神奈川)
	原 有匡 (岐阜)
副部長	大河内 敦史 (埼玉)
	濱田 賢一 (千葉)
	寺井 孝幸 (奈良)
会務担当副部長	仲條 嘉高 (東京)
会計	水野 敬一 (東京)

※幹事は各県青年部長

#### 関資連青年部新役員

青年部長	濱田 賢一 (千葉)
部長代理	玉山 京浩 (東京)
監事	谷田 祐介 (茨城)
	石井 一嘉 (群馬)
会計	亀山 裕正 (千葉)

※副部長は各県青年部長



- #### ●各加盟組合青年部長・特別会員
- 札幌市資源リサイクル事業協同組合 青年部長 小山内 公一
  - 茨城県再生資源事業協同組合 青年部長 野口 峰昭
  - 神奈川県資源回収商業協同組合 青年部長 竹井 望
  - 群馬県再生資源事業協同組合連合会 青年部長 大澤 智
  - 埼玉県再生資源事業協同組合 青年部長 大河内 敦史
  - 千葉県資源リサイクル事業協同組合連合会 青年部長 飯田 敬道
  - 東京都資源回収事業協同組合 青年部長 福田 雄二
  - 栃木県リサイクル協同組合連合会 青年部長 佐取 将明
  - GSK岐阜再生資源好流会 部長 山本 勝司
  - 奈良県資源回収事業協同組合 青年部長 植田 泰作
  - 福井県再生資源事業協同組合 青年部長 増田 喜一郎
  - 特別会員 金城 繁治(沖縄)、入江 真太郎(大阪)、中山 幹啓(奈良OB)

- #### ●東北六県再生資源商工組合連合会青年部連絡協議会
- 秋田県再生資源商工組合 青年部長 村上 貴義
  - 岩手県再生資源商工組合 青年部長 伊藤 博
  - 山形県再生資源商工組合 青年部長 鈴木 正人
  - 宮城県再生資源商工組合 青年部長 福原 大介
  - 福島県再生資源商工組合 青年部長 大越 茂由

#### 広告を掲載しませんか?

全国組合員約2300社に配布される、日資連会報「あ〜す・れっく」。本誌掲載にする会社の広告を募集しています。全国の組合員に御社を知ってもらえます! 事務局までお問い合わせください。(TEL:03-3263-9101)

日資連青年部では、全国に青年部のネットワークを拡げていくべく活動しております。会員組合に青年部がないところは、青年部発足のための御支援もさせていただきますし、特別会員(個人会員)として参加することも可能です。会合は、なるべく各地で開催しておりますので、お近くで参加できる時に参加して頂いても大丈夫です。